

著者名	年	表題	掲載誌・巻号頁
<b>523 採種栽培</b>			
Adel El-Beltagy	2005	新しい種馬鈴しょ生産システム.	いも類振興情報 82: 18-26.
赤堀香苗	1946	採種用秋植馬鈴薯 植付と管理の行ひ方.	農業世界 41(8): 26-
秋元喜弘	1964	“暖地馬鈴薯採種栽培上問題となる病害とその防除”, 雲仙馬鈴薯原原種農場開場記念(暖地馬鈴薯の問題とその対策).	雲仙馬鈴薯原原種農場, pp.49-76.
安藤隆夫	1955	暖地馬鈴薯の採種栽培.	農業技術 10(4): 161-165.
青木元彦・佐々木 純	2008	種ばれいしょ圃場周辺に存在するウイルス罹病株の感染源としての危険性.	北海道立農試集報 92: 73-77.
青木元彦	2008	種ばれいしょ栽培における茎葉処理後のウイルス感染の可能性.	北海道立農試集報 92: 79-80.
明日山秀文	1950	“馬鈴薯の採種”, 病虫害と防除, 「甘藷馬鈴薯増産技術の基礎」(日本園芸中央会 編).	日本園芸中央会, pp.305-321.
伴 義之・朝野尚樹・牧野 華	2005	国内外の種バレイショ生産の現状と施設内生産の可能性 (1) 生産の効率化・品質向上をめざして.	農及園 80(8): 894-903.
伴 義之・朝野尚樹・牧野 華	2005	国内外の種バレイショ生産の現状と施設内生産の可能性 (2) 効率化・品質向上をめざして.	農及園 80(9): 977-982.
江川 了	1949	“馬鈴薯の採種組織”, 「馬鈴薯の採種栽培法」(佐々木 喬 監修, 農林省農政局農産課 編).	日本種馬鈴薯協会, 東京, pp.159-166.
江川 了	1952	“馬鈴薯の採種”, いもの部じゃつこくの部, 「総合作物学」(食用作物篇).	地球出版社, 東京, pp.112-118.
江口俊一	1977	“採種”, 「馬鈴薯」(田口啓作・村山大記 監修).	グリーンダイセン普及会, 札幌, pp.267-301.
平石康久	2016	北海道における種ばれいしょの安定供給に向けた取り組み.	砂糖類・でん粉情報 48: 57-65.
ホクレン種苗園芸部種苗課	2010	北海道産移出用種馬鈴しょの情勢について. (特集 ばれいしょ)	特産種苗 7: 27-29.
堀尾英弘	1986	馬鈴しょ原原種の生産・検定技術をめぐる最近の話題.	いも類振興情報 8: 2-5.
伊藤 潔・三浦一男	1968	種馬鈴薯の栽培と有機磷製剤の効果.	農業技術 23(2): 79-80.
柿崎洋一	1922	馬鈴薯の退化と採種圃.	大日本農會報 490: 12-19.
柿崎洋一	1922	馬鈴薯の退化と採種圃(承前).	大日本農會報 491: 11-23.
Kang, B.K. and Han, S.H.	2005	Production of seed potato ( <i>Solanum tuberosum</i> L.) under the recycling capillary culture system using controlled release fertilizers.	J. Japan. Soc. Hort. Sci. 74(4): 295-299.
加藤仁平	1954	馬鈴薯の品種と種薯生産力.	農村 32(3): 11-12.
加藤仁平・中嶋東吾・日野原喜六	1968	馬鈴薯採種栽培におけるオオジロの圃場萌芽とその対策.	群馬農試報告 7: 25-31.
川村 琢	1955	種子用馬鈴薯生産の分析.	北海道農業研究 8: 18-28.
小玉泰生・大西 昇・森清文・福元伸一	2013	バレイショ ‘トヨシロ’ のマイクロチューバーを利用した年2作型による採種栽培体系の検討.	鹿児島農総セ研報 7: 25-37.
工藤良忠	1954	種ジャガイモの生産をめぐつて.	農業朝日 9(9): 44-46.
黒瀬 晃	1986	北海道中央馬鈴しょ原原種農場における馬鈴しょ病害検定概要.	いも類振興情報 7: 7-11.
前野眞司・鈴木 剛	2009	マイクロチューバーによる種馬鈴しょ栽培体系.	北農 76(4): 438-443.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
丸山恵史	2012	“4節 種いもの生産と流通 [節の概説], (1) 我が国の採種体系”, III章 ジャガイモの生産と普及, 「ジャガイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.237, 237-241.
三澤 孝	2012	“4節-(2) 原原種(1)の生産”, III章 ジャガイモの生産と普及, 「ジャガイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.241-244.
宮本健太郎	1953	暖地ジャガイモの種とり.	農業朝日 8(12): 49-51.
水田隼人	1951	馬鈴薯に対するエチクロリン処理効果.	九州農試彙報 1(1): 70-71.
村上 肇	1961	馬鈴薯の原々種, 原種圃の管理および品種保存の現状.	育種学最近の進歩 第2集, pp.123-
中村和三郎	1887	馬鈴薯の種を取る法.	農業雑誌 12(1)(252): 12:-
中世古公男・後藤寛治・渡辺春雄・茂木紀昭	1979	北海道における秋作による若種いも採種栽培の可能性について.	北大農場研報 21: 29-35.
中世古公男	1979	秋作による若種いも採種栽培の可能性について.	育種・作物学会北海道談話会報 19: 32.(講要)
大波正寿	1995	網走管内における夏植若種いも採種栽培.	育種・作物学会北海道談話会報 36: 134-135.(講要)
大波正寿・鈴木 剛・稲野一郎	2006	種馬鈴しょ生産における茎葉チョップと生育調節剤による茎葉処理技術.	北海道立農試集報 90: 41-45.
尾崎元扶・横畑 磐	1961	暖地二期作馬鈴薯の採種に関する研究 第 I 報 暖地馬鈴薯に対するアブラムシ類の寄生および飛翔活動の季節的消長.	日作紀 29(4): 451.(講要)
尾崎元扶・横畑 磐	1961	暖地馬鈴薯の採種に関する研究 第 II 報 二期作馬鈴薯におけるウイルス病の伝染消長とアブラムシの活動消長との関係.	日作紀 29(4): 451-452.(講要)
尾崎元扶・横畑 磐	1961	暖地二期作馬鈴薯の採種に関する研究 第 I 報 暖地におけるジャガイモアブラムシの寄生および飛翔活動, 並びにそれと馬鈴薯ウイルス病伝染との関係.	日作紀 30(1): 13-18.
尾崎元扶・横畑 磐	1962	暖地馬鈴薯の採種に関する研究 第 I 報 暖地馬鈴薯に対するアブラムシの寄生及び飛翔活動の季節的消長.	中国農試報告 A7: 111-138.
尾崎元扶・横畑 磐	1962	暖地馬鈴薯の採種に関する研究 第 II 報 暖地における馬鈴薯のウイルス病伝染消長とアブラムシ活動との関係.	中国農試報告 A7: 139-164.
尾崎元扶・横畑 磐	1963	暖地馬鈴薯採種に関する研究 (第3報) 春・秋馬鈴薯採種における蚜虫駆除と蚜虫寄生回復の消長およびウイルス病伝染との関係.	中国農試報告 A9: 63-88.
佐藤 亮	1961	馬鈴薯の原原種, 原種圃の管理及び品種保存の現況 (主としてウイルス病との関連において).	育種学最近の進歩 第2集 (養賢堂, 東京), pp.126-129.
佐藤 亮	1964	馬鈴薯原々種の現状と将来.	農薬の進歩 10(4): 18-24.
佐藤 亮	1965	北海道における馬鈴薯の自家採種.	北海道の農業 2(1): 41-55.
関谷福司	1957	馬鈴薯の抑芽による採種に関する研究 第1報 秋作採種について.	日作紀 25(3): 182.(講要)
関谷福司	1958	馬鈴薯の抑芽による暖地採種に関する研究 第2報 薬剤撒布による virus の防除について.	日作紀 26(4): 284.(講要)
繁村 親	1949	“特に秋植に依る種馬鈴薯の作り方”, 「馬鈴薯の採種栽培法」(農林省農政局農産課 編).	日本種馬鈴薯協会, 東京, pp.47-78.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
佐藤仁敏	2012	“4節-(2)-4) 病害虫の検出・除去”, III章 ジャガイモの生産と普及, 「ジャガイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.244-248.
塩田弘行	1968	馬鈴しょ採種の要点.	北海道の農薬 8: 17-30.
東海林繁治	1937	馬鈴薯の種薯栽培と肥料要素との関係.	教育農藝 6(9).
末松 武	1942	馬鈴薯種薯生産について.	営農 1(3).
鈴木孝之	1934	馬鈴薯種薯に関する試験研究.	農及園 9(7): 1531., 9(8): 1733.
田畑建司	1982	ばれいしょの原採種事業の現状と問題点. (原採種事業をめぐる諸問題, 第19回シンポジウム)	育種・作物学会北海道談話会報 22: 60-62. (講要)
田口啓作	1949	“馬鈴薯の採種栽培法”, 「馬鈴薯の採種栽培法」(農林省農政局農産課 編).	日本種馬鈴薯協会, 東京, pp.1-46.
田島和幸	2010	ばれいしょ原原種の生産・配布について <ばれいしょ生産の起点となる健全・無病な原原種生産>. (特集 ばれいしょ)	特産種苗 7: 15-18.
高橋義明・村井信仁・道場三喜雄・山島由光	1976	種子馬鈴薯の機械化栽培に関する研究 第1報 施設貯蔵.	農機誌 37(別): 121. (講要)
高瀬 昇	1968	ばれいしょの無病種いもの生産.	農業北海道 20(7): 20-23.
Tanaka, S.	1978	Seed potato production.	Farming Japan 12(5): 20-25.
田中 智	1992	ジャガイモ採種栽培と種いも.	いも類振興情報 30: 2-6.
田中 智	1997	ジャガイモの種に期待すること.	いも類振興情報 51: 1-5.
戸苺義次	1948	二期作による馬鈴薯の採種技術.	農及園 23(3): 187-190.
戸苺義次	1949	二期作による馬鈴薯の採種技術.	日作紀 17(4): 6-7.
徳永健吉	1941	種薯用としての秋作馬鈴薯の価値.	農業 726: 27-32.
柘植丙午	1952	ジャガイモの暖地採種.	農業日本 7(4): 58.
上田裕之	2010	産地情報 北海道十勝地区における種馬鈴しょ生産の取り組み.	特産種苗 7: 38-41.
(山木正五)	1972	胆振馬鈴薯原原種農場の立地条件と生産性向上過程.	馬鈴薯原原種農場研報 7: 1-118.
山下英政	2012	“4節-(3) 原種・採種の生産”, III章 ジャガイモの生産と普及, 「ジャガイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.248-251.
吉田 稔	1990	採種栽培の問題点と対策 -その1-	いも類振興情報 23: 2-9.
吉田 稔	1990	採種栽培の問題点と対策 -その2・完-	いも類振興情報 24: 12-16.

#### 524 TPS(真正種子)

秋元喜弘	1994	真生種子(TPS)を用いてのジャガイモ生産の現況 ①.	いも類振興情報 41: 21-24.
秋元喜弘	1995	真生種子(TPS)を用いてのジャガイモ生産の現況 ②.	いも類振興情報 42: 23-26.
(大日本農會)	1888	ジェイムス・トワビット氏献上の爪哇薯種子御下附御達(附爪哇薯實生の法).	大日本農會報告 81: 26-28.
(大日本農會)	1889	宮内省御御下附爪哇薯種子試作結果報告.	大日本農會報告 98: 54-61.
敦 華春・遠城道雄・林 満	2000	真正種子(TPS)由来のスマールチューバー (small tuber) の効率的な生産法の確立.	熱帯農業 44(1): 38-43.
岩永 勝・坂口 進	1981	種子播バレイショ研究の動向.	育雑 31(2): 203-206.
狩野良昭・K. B. Shrestha・R. S. Al-Ani・西村美彦・利光浩三	1987	種子播バレイショ(TPS)の実用化に関する研究(第4報) TPSの生育過程及び窒素の施肥効果.	園学要旨. 昭62春: 262-263. (講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
小林 晃・津田昌吾・小原(高田) 明子・高田 憲和・森 元幸	1998	ペルーより導入した真性種子播きバレイシヨ品種の特性評価.	育種・作物学会北海道談話会報 39: 59-60.(講要)
小林 晃・保坂和良・高田明子・津田昌吾・森 元幸	2002	遺伝的均一性を高めた真正種子播きバレイシヨの評価.	育種・作物学会北海道談話会報 43: 119-120.(講要)
Roy, T.S., Nishizawa T. and Ali, M.H.	2005	Studies in the utilization of true potato seeds. Productivity of tubers under subsequent clonal generations.	J. Japan. Soc. Hort. Sci. 74(5): 374-380.
ツヒン ロイ・西沢 隆・ハズラット アリ	2005	常温条件下で貯蔵した真性種子由来のジャガイモ塊茎の貯蔵性.	園学雑 74(別2): 247.(講要)
ツヒン ロイ・ハズラット アリ・西沢 隆	2004	選抜したジャガイモ真性種子を用いた三世代におよぶ生産性について.	園学雑 73(別2): 194.(講要)
坂口進	1982	種子播バレイシヨの実用化と技術的背景.	農業技術 37(7): 304-308.
矢沢佐太郎・永井和夫・狩野良昭	1983	種子播バレイシヨ (TPS) の実用化に関する研究 (第1報) 発芽に及ぼす温度, 薬品処理および種子貯蔵期間の影響.	園学要旨. 昭58春: 220-221.(講要)
矢沢佐太郎・永井和夫・狩野良昭	1983	種子バレイシヨ (TPS) の実用化に関する研究 (第2報) TPSの塊茎生産力.	園学要旨. 昭58春: 222-223.(講要)
矢沢佐太郎・永井和夫・狩野良昭	1984	種子播バレイシヨ (TPS) の実用化に関する研究 (第3報) TPSの土混和直播法の検討.	園学要旨. 昭59春: 180-181.(講要)
矢沢佐太郎	1985	種子播きバレイシヨ (TPS) の実用化.	農及園 60(8):1023-1026.

### 530 貯蔵

#### 531 貯蔵

安孫子孝一	1956	薬剤によるジャガイモの長期貯蔵.	農業技術(創刊10周年記念号): 45-46.
安孫子孝一	1953	貯蔵馬鈴薯の萌芽抑制に及ぼす Belvitan "K"の効果.	農業技術 8(2): 34-35.
会田英男	1956	馬鈴薯(一化生)を種用に上手に貯蔵するには.	農業技術研究 10(6): 14-16.
安藤健介・下條 明	2012	雪室貯蔵によるジャガイモの糖分増加.	いも類振興情報 113: 25-29.
青葉 高	1951	或種の処理が馬鈴薯塊茎の癒傷に及ぼす影響.	山形県立農専研報 4: 23-26.
荒木英晴・井村直樹・山下 茂	2012	バレイシヨ「スノーマーチ」における出荷後早期萌芽条件の特定 内生休眠期間が短縮する条件.	育種・作物学会北海道談話会報 53: 37-38.(講要)
浅見菜穂子・樋元淳一・川村周三・木村俊範	2013	(2Ap15) 加工用バレイシヨのエチレン貯蔵における1-methylcyclopropene前処理の品質改善効果.	日食工学会講演集 60: 121.(講要)
茶珍和雄・藤原利美・岩田 隆	1986	(118) バレイシヨにおけるエチレン生成について.	日食工学会講演集 33: 54.(講要)
茶珍和雄・楠木優子・岩田 隆	1988	ジャガイモ塊茎のミトコンドリアの呼吸活性と機能に及ぼす貯蔵温度の影響.	園学要旨. 昭63春: 544-545.(講要)
茶珍和雄・丁長奎・和田光生・山中博之	1996	低温ストレスがバレイシヨのフェノール物質含量に及ぼす影響.	園学雑 65(別2): 764-765.(講要)
堂腰 純	1971	馬鈴薯の貯蔵 (1) .	農業施設 2(1): 22-29.
堂腰 純	1972	馬鈴薯の貯蔵 (2) .	農業施設 2(2): 9-14.
堂腰 純	1974	馬鈴薯貯蔵施設と構造.	農業施設 4(2): 20-33.
堂腰 純	1977	“ I 屋内貯蔵”, 貯蔵, 「馬鈴薯」(田口啓作・村山大記 監修).	グリーンダイセン普及会, 札幌, pp.440-458.
遠藤千絵・石黒浩二・瀧川重信・野田高弘・波佐康弘	2015	生食用ジャガイモ品種の低温貯蔵による糖含量の増加特性.	日食工誌 62(1): 50-55.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
遠藤千絵	2007	バレイシヨの貯蔵に関わる成分変化とチップの品質.	グリーンテクノ情報 3(2): 6-9.
遠藤千絵	2015	エチレンによる加工用バレイシヨの萌芽抑制. (特集 バレイシヨ貯蔵技術)	グリーンテクノ情報 11(2): 5-7.
遠藤千絵・瀧川重信・西中未央・田宮誠司・野田高弘	2015	エチレン貯蔵によるバレイシヨ塊茎の萌芽抑制とエチレンが塊茎に与える影響.	北農 82(1): 44-49.
遠藤千絵・石黒浩二・瀧川重信・野田高弘・波佐康弘	2016	低温貯蔵による生食用バレイシヨの糖増加特性.	北農 83(1): 38-42.
遠藤千絵	2009	ジャガイモは生(なま)ものであり貯蔵中も変化する.	いも類振興情報 99: 24-28.
遠藤千絵・森 元幸	2011	ジャガイモ貯蔵技術の課題と改善方向.	いも類振興情報 108: 2-5.
遠藤千絵	2011	雪室を利用したジャガイモ貯蔵技術の現状と課題.	いも類振興情報 108: 17-18.
遠藤千絵	2014	エチレン反応性へ影響を与えるバレイシヨ塊茎の生理状態. (特集2 馬鈴しょ貯蔵へのエチレン利用)	いも類振興情報 119: 32-34.
遠藤千絵	2015	生食用ジャガイモの低温貯蔵による糖の増加特性.	いも類振興情報 125: 33-37.
Fukuda, M., Kunisada, Y., Noda, H., Tagaya, S., Yamamoto, Y. and Kida, Y.	1995	Effect of storage time of potatoes after harvest on increase in the ascorbic acid content by wounding.	Nippon Shokuhin Kagaku Kogaku Kaishi 42(12): 1031-1034.
原田一雄・中村賢一	2011	LED光を利用したジャガイモの萌芽抑制技術.	いも類振興情報 108: 13-16.
樋元淳一・相川直也・伊藤和彦	2000	ジャガイモの貯蔵温度とアスコルビン酸含量の変化.	農機誌 62(別): 213-214. (講要)
樋元淳一	2005	生食用・加工用ジャガイモの長期貯蔵技術. (シンポジウムS2 農畜産物の美味しさと安全を支えるポストハーベスト技術)	日食工学会講演集 52: 25-26. (講要)
樋元淳一	2010	加工用馬鈴しょの芽の伸長抑制技術.	農家の友 62(3): 48-50.
樋元淳一	2014	エチレンを用いた加工用バレイシヨの萌芽抑制技術の開発. (特集 青果物流に関する最近の話題)	日本包装学会誌 23(2): 97-103.
樋元淳一	2010	加工用バレイシヨの芽の伸長抑制技術.	農家の友 62(3): 48-50.
樋元淳一	2010	加工用バレイシヨの芽の伸長抑制技術.	いも類振興情報 103: 24-27.
樋元淳一	2011	エチレンを用いた加工用バレイシヨの芽の伸長抑制.	いも類振興情報 108: 9-12.
樋元淳一	2012	“2節-(2)-2) 貯蔵”, III章 ジャガイモの生産と普及, 「ジャガイモ事典」(いも類振興会 編).	いも類振興会, 東京, pp.192-195.
弘中和憲・後藤祐司・石橋憲一・中川允利	1990	貯蔵馬鈴薯の弾性率の塊茎内分布.	農機誌 52(別): 425-426. (講要)
弘中和憲・根本瑞紀・石橋憲一・中川允利	1991	貯蔵馬鈴薯の降伏応力の塊茎内分布.	農機誌 53(別): 341-342. (講要)
弘中和憲・南 望史・石橋憲一・中川允利	1992	貯蔵馬鈴薯のリコンディショニング中における塊茎内糖分布.	農機誌 54(別): 367-368. (講要)
弘中和憲・白川洋孝・石橋憲一・中川允利	1993	馬鈴薯の内部損傷に関する研究 -貯蔵開始および発芽時期の内部損傷関連物質および酵素の挙動-.	農機誌 55(別): 367-368. (講要)
弘中和憲・白坂博司・石橋憲一	1994	馬鈴薯の内部損傷に関する研究 -内部損傷関連物質および酵素の品種間による差異-.	農機誌 56(別): 465-466. (講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
Hironaka, K., Ishibashi, K., Inogai, S., Kunieda, M., Hashimoto, T. and Kumase, N.	1994	Effect of static loading on quality of potatoes during storage.	Res. Bull. Obihiro Univ. 19(1): 7-13.
弘中和憲・袴田 薫・石橋憲一	1995	貯蔵馬鈴薯中のポリアミンの発芽におよぼす影響.	農機誌 57(別): 125-126. (講要)
Hironaka, K., Ishibashi, K., Sato, H., Imura, T., Terai, H. and kumase, N.	1995	Dropping potatoes onto a hard surface floor increases their moisture content during storage.	Res. Bull.Obihiro Univ. 19(3): 159-163.
弘中和憲・西澤淳一・石橋憲一	1996	加工用馬鈴薯の糖化関連酵素の貯蔵中の推移.	農機誌 58(別): 209-210. (講要)
Hironaka, K., Ishibashi, K. and Ono, K.	1996	Change in bruise susceptibility of potatoes during storage.	Res. Bull.Obihiro Univ. 20(1): 35-39.
弘中和憲・青山政憲・石橋憲一	1998	加工用馬鈴薯のキュアリングおよび貯蔵中の物性変化.	農機誌 60(別): 149-150. (講要)
弘中和憲・青山政憲・石橋憲一	1998	加工用馬鈴薯のキュアリングおよび貯蔵中の物性変化.	農機誌 60(別): 149-150. (講要)
弘中和憲・高木 亮・石橋憲一・森 元幸・小原明子	1999	馬鈴薯の内部損傷発生機構の化学的説明.	農機誌 61(別): 221-222. (講要)
弘中和憲・石橋憲一・小林祥則・森 元幸・津田昌吾	2000	低温貯蔵馬鈴薯のインベルターゼ, シュクロース-6-リン酸シンターゼ, UDPグル.	農機誌 62(別): 215-216. (講要)
弘中和憲・安井謙介・石橋憲一・森 元幸・津田昌吾	2001	馬鈴薯の内部損傷におよぼす表皮および内部組織の影響.	農機誌 63(別): 141-142. (講要)
弘中和憲・石橋憲一・釣田さりま・森 元幸・津田昌吾	2002	低温貯蔵馬鈴薯のデンプン分解酵素の挙動.	農機誌 64(別): 189-190. (講要)
弘中和憲・石橋憲一・清水一秀・森 元幸・津田昌吾・高田明子	2003	馬鈴薯の破壊応力におよぼす貯蔵温度の影響.	農機誌 65(別): 217-218. (講要)
弘中和憲・石橋憲一・小嶋 浩・松宮崇行・松田清明・佐藤禎稔・森元幸・津田昌吾・高田明子	2004	貯蔵馬鈴薯のチップカラーにおよぼす荷重の影響.	農機誌 66(別): 197-198. (講要)
市瀬和一	1963	CIPCによる貯蔵馬鈴薯の萌芽防止効果.	農及園 38(11): 1721-1722.
井岡北山・賀谷伊助	1887	馬鈴薯貯蔵法.	農業雑誌 12(1)(252): 12.
入宇田丈弥・弘中和憲・石橋憲一・森 元幸・津田昌吾	2002	堆積荷重が馬鈴薯のチップカラーに及ぼす影響.	農機誌 64(別): 191-192. (講要)
石橋憲一・矢沢 睦・弘中和憲	1993	低温貯蔵バレイショの糖含量におよぼす空気組成の影響.	農機誌 55(別): 369-370. (講要)
石橋憲一・太田晃正・弘中和憲	1994	加工用バレイショのCA貯蔵とリコンディショニングにおける糖含量の推移.	農機誌 56(別): 453-454. (講要)
石橋憲一・柴田浩之・弘中和憲	1995	馬鈴薯のデンプンおよび糖含量におよぼす貯蔵条件の影響.	農機誌 57(別): 123-124. (講要)
石橋貞人・田中俊一郎・西富良朗・室屋利	1980	バレイショ試片の線形粘弾性特性.	農機誌 42(3): 403-412.
板谷俊彦・弘中和憲・石橋憲一	1996	内部黒変感受性の異なる馬鈴薯の貯蔵中の物理的及び化学的特性.	農機誌 58(別): 207-208. (講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
岩原義美	2008	春先の端境期を狙った馬鈴しょの氷室貯蔵－洞爺氷室研究会・岩原義美さん.(雪氷エネルギーを活用しよう)	農家の友 60(10): 34-36.
岩元睦夫・河野澄夫・梅田圭司・木村 進	1977	大型コンテナによるバレイショ貯蔵時の換気について.	園学要旨(昭52秋): 430-431.(講要)
亀井美智代・永野雅史・寺井弘文・土田広信	1996	(2Fp12) ジャガイモの低温貯蔵時におけるアスコルビン酸ペルオキシダーゼ活性及びそのmRNAレベルでの挙動.	日食工学会講演集 43: 113.(講要)
金子一郎・斎藤久幸	1964	馬鈴薯の萌芽抑制剤に関する試験 第1報 CI-IPCによる萌芽抑制について.	北海道立農試集報 13: 42-54.
川上幸治郎	1950	馬鈴薯冬の貯蔵の急所.	農業毎日 4(11): 40-41.
川上幸治郎	1950	バレイショ栽培の進歩と薬品の研究.	農学 4(3): 4-14.
川上幸治郎	1950	バレイショの貯え方.	図解農業 2(11): 26-27.
川上幸治郎	1950	バレイショはなぜ有利か [1]－バレイショの智識－.	農業信州 33(11): 8-10.
川上幸治郎・樋浦 巖	1952	バレイショ貯蔵における発芽抑制剤ドルマトンの効果.	農及園 27(12): 1355-1356.
川上佐知子・水野雅史・土田広信	1998	(2Dp5) 低温貯蔵時におけるジャガイモ中のアスコルビン酸ペルオキシダーゼの局在及び活性酸素の発生源について.	日食工学会講演集 45: 125.(講要)
風見大司・土屋俊子・小林康広・小倉長雄	2000	貯蔵温度がジャガイモ塊茎の品質に及ぼす影響.	食科工誌 47(11): 851-856.
岸本博二・上本俊平	1950	馬鈴薯塊茎の癒傷.	東海近畿農業研究 1・2: 82-
小泉玲児・佐藤広顕・高野克己	2003	(2Da3) ジャガイモの高温貯蔵における品質変化.	日食工学会講演集 50: 22.(講要)
小餅昭二・佐藤正人	1981	馬鈴しょの貯蔵と加工 (1) (<特集> 農産物の貯蔵・加工・輸送)	農及園 56(1): 150-154.
小餅昭二・佐藤正人	1981	馬鈴しょの貯蔵と加工 (2)	農及園 56(2): 283-285.
小綿寿志	1998	北海道バレイショの新しい貯蔵技術－アイスポンドシステムを例に.	食糧 37: 77-96.
小綿寿志・佐藤義和	1993	アイスポンドシステムによるバレイショ貯蔵庫の冷房特性.	農業施設 24(3): 143-151.
小綿寿志	1995	自然冷熱利用技術の開発研究－バレイショ長期貯蔵向けアイスポンドシステム.	農業技術 50(3): 119-123.
小綿寿志・佐藤義和・石井現相	1996	アイスポンドシステムによるバレイショの長期貯蔵.	農業施設 27(3): 173-180.
小綿寿志・佐藤義和・深山一弥	1998	バレイショ長期貯蔵向け実規模アイスポンドシステムの基本設計.	農業施設 29(3): 151-158.
小綿寿志・佐藤義和・干場信司・高橋 進・中井威佐夫	1999	実規模アイスポンドシステムの運転性能 (1)－施設の概要と製氷性能－.	農業施設 29(4): 231-238.
小綿寿志・佐藤義和・干場信司・影山敏司・杉吉一行	1999	実規模アイスポンドシステムの運転性能 (2)－冷房性能－.	農業施設 30(1): 77-82.
小綿寿志・佐藤義和・干場信司・鱈場 尊・安村敏博	1999	実規模アイスポンドシステムの運転性能 (3)－貯蔵バレイショの品質と流通上の問題－.	農業施設 30(1): 83-88.
Kowata, H, Sato, Y. and Hoshiba, S.	1999	Energy balance analysis for an ice pond refrigeration system in practical use.	Nogyo Shisetsu 30(2): 185-191.
小山理奈・伊藤和彦	2003	エチレン処理による生食用ジャガイモの萌芽抑制.	農機誌 65(別): 185-186. (講要)
久保武美	2013	ポテトチップス用馬鈴しょの貯蔵と輸送における留意－高品質と長期貯蔵を可能にするために－.	いも類振興情報 115: 25-28.
窪田秀敏・今井賢三郎・中村和三郎	1888	馬鈴薯貯蔵法.	農業雑誌 13(4)(291) : 60.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
真木 胖	1952	馬鈴薯新品種並に蕃茄品種の疫病抵抗性に関する研究.	中国四国農業研究 1: 53-54.
Matsuura-Endo, C., Kobayashi, A., Noda, T., Takigawa, S., Yamauchi, H. and Mori, M.	2004	Changes in sugar content and activity of vacuolar acid invertase during low-temperature storage of potato tubers from six Japanese cultivars.	J. Plant Res. 117(2): 131-137.
松永 浩	2013	エチレンを用いた加工用馬鈴しょの貯蔵技術. (特集 青果物の鮮度保持を考える)	農家の友 65(8): 36-38.
松永 浩	2015	エチレン処理による生食用馬鈴しょの長期貯蔵技術. (特集 バレイショ貯蔵技術)	グリーンテクノ情報 11(2): 2-4.
松永 浩	2014	エチレンを用いた加工用馬鈴しょの貯蔵技術. (特集2 馬鈴しょ貯蔵へのエチレン利用)	いも類振興情報 119: 35-38.
Matsunaga, R.	1980	Operational energy cost of potato cold storage. — Calculation method and its demonstration.	Rep. Natl. Food Res. Inst. 37: 114-154.
Minato, T. and Okazawa, Y.	1978	Effect of ethylene treatment on auxin metabolism of potato tubers.	Jour. Fac. Agr. Hokkaido Univ. 58(4): 535-547.
Minato, T. Kikuta, Y. and Okazawa, Y.	1979	Effect of ethylene on sprout growth and endogenous growth substances of potato plants.	Jour. Fac. Agr. Hokkaido Univ. 59(2): 239-248.
Minato, T. Kikuta, Y. and Okazawa, Y.	1982	Effect of (2-chloroethyl) phosphonic acid [CEPA] on cytokinin level of potato tubers.	Jour. Fac. Agr. Hokkaido Univ. 61(1): 180-186.
森 元幸・米田 勉・小綿 寿志	1992	バレイショ品種の長期低温貯蔵における品質.	育種・作物学会北海道談話会報 31: 11. (講要)
村上紀夫	2014	エチレンの特定農薬の指定と馬鈴しょ貯蔵への利用. (特集2 馬鈴しょ貯蔵へのエチレン利用)	いも類振興情報 119: 26-31.
村田陽介・高野克己・鴨居郁三	1999	(2Ga5) ジャガイモの低温貯蔵時における品質変化.	日食工学会講演集 46: 59. (講要)
村田陽介・高野克己・鴨居郁三	2000	(2Dp12) ジャガイモ貯蔵中におけるデンプン, 糖およびデンプン分解酵素活性の変化.	日食工学会講演集 47: 88. (講要)
村田陽介・ケビン F. ヤブテンコ・野口智弘・鈴木敏郎・佐藤広顕・松本信二・高野克己	2000	低温 (0と10℃) 貯蔵中のジャガイモの品質変化.	日食保蔵誌 26: 153-160.
Murata, Y., Taptenco, K.F., Noguchi, T., Suzuki, T., Sato, H., Matsumoto, S. and Takano, K.	2000	Property changes in potato tubers ( <i>Solanum tuberosum</i> L.) during old storage at 0 and 10°C.	Food Preser. Sci. 26(3): 153-160.
永尾嘉孝	1987	ジャガイモの貯蔵条件と品質の変化 第1報 春作ジャガイモの貯蔵条件と品質の変化.	九州農業研究 50: 221.
永田利男・丹羽定吉・秋保正司・宮武勝美・長峰惣三郎・阿部米吉・小沢 栄・吉田正一	1977	ばれいしょの露地貯蔵に関する現地実証的試験.	育種・作物学会北海道談話会報 17: 31. (講要)
永田利男	1977	“ I 露地貯蔵”, 貯蔵, 「馬鈴薯」 (田口啓作・村山大記 監修).	グリーンダイセン普及会, 札幌, pp.432-439.



著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
中川弘毅・栗原大治・千葉由紀子・佐藤隆英・小倉長雄	1995	貯蔵温度がじゃがいも塊茎の萌芽,呼吸量糖含量及びポリフェノールオキシダーゼ活性に及ぼす影響.	農化 69(3): 325-330.
中鶴政夫・村上雅二	1955	ベルビタンKによる馬鈴薯の萌芽抑制について.	九州農業研究 15: 21-23.
二宮敬治	1956	MHで馬鈴薯・玉葱発芽防止.	農及園 31(8): 1137.
西入恵二	1964	馬鈴薯萌芽抑制剤としてのDBNの使用方法に関する試験.	東北農業研究 6: 158-160.
西尾隆雄	1954	馬鈴薯種いもの温貯蔵.	中国四国農業研究 5・6: 49-
小笠原秀雄	1943	馬鈴薯の発芽抑制に及ぼす苹果の効果.	農業の満州 15(12): 17-20.
岡部彦左衛門	1890	馬鈴薯貯蔵方.	農業雑誌 15(16)(375) : 252.
尾崎元扶・大泉久一	1959	CI-IPCによる貯蔵馬鈴薯の萌芽抑制.	農業技術 14(6): 259-262.
尾崎元扶・他	1961	CI-IPCによる貯蔵馬鈴薯の萌芽抑制	中国農業研究 21:
Sabiniano, N.S., Ishibashi, K., Hironaka, K. and Yamamoto, K.	1994	Effect of storage period and temperature on some properties of potato starch.	Nogyo Shisetsu 25(3): 141-146.
Sabiniano, N., Ishibashi, K. and	1995	Effect of low-temperature storage on some properties of potato starch.	Nippon Shokuhin Kogyo Gakkaishi 42(10): 815-819.
Sasaki, D., Himoto, J. and Itoh, K.	2002	Effects of low temperature storage on temperature resistant and susceptible varieties of potato tubers.	農機誌 64(別): 613-614. (講要)
Sasaki, T.D., Himoto, J. and Itoh, K.	2003	Effects of hypoxia on the quality of processing potato tubers during storage at low temperature.	農機誌 65(別): 415-416. (講要)
Sasaki Tamaki, D., Perez, K., Himoto, J. and Itoh, K.	2004	Effects of reconditioning on the quality of different processing potato cultivars after low temperature storage.	Food Preser. Sci. 30(3): 129-135.
佐々木 涉	2011	ジャガイモのCA貯蔵の現状と課題.	いも類振興情報 108: 6-8.
佐藤勘之助	1937	馬鈴薯の発芽防止に関する研究.	農化 13: 998-1002.
清水信男	1954	馬鈴薯に対するMH-30の萌芽抑制効果について.	農芸 7(3): 24-25.
清水 茂	1954	新農薬「MH」によるタマネギ・パレイシヨの発芽抑制.	富民 26(4): 41-44.
杉 穎夫・池田定男	1952	貯蔵馬鈴薯の萌芽抑制に対する“Sprout Inhibitor Dust”の効果.	中国四国農業研究 2: 34-35.
杉 穎夫・田口啓作・永田利男	1952	貯蔵馬鈴薯の萌芽に対するD・S・Iの効果.	農林省農業改良局研究部研究通報 No.25: 176-179.
杉 穎夫・田口啓作・永田利男	1952	貯蔵馬鈴薯の萌芽に対するD・S・Iの効果.	農業技術 7(5): 176-179.
杉井四郎	1952	馬鈴薯の萌芽抑制剤に就て.	農業技術 7(1): 51.
杉山直儀・渡邊 諭	1944	ナフタレン醋酸の加里塩及びメチルエステルに依る馬鈴薯の発芽抑制に就て.	農及園 19(11): 979-980.
杉山直儀・渡邊 諭	1948	生長ホルモンに依るジャガイモの発芽抑制.	園学雑 17(3・4): 126-138.
田口啓作・西入恵二	1952	馬鈴薯萌芽抑制粉剤“Sprout Inhibitor DUST”の効果に就いて.	東北農業 5(5・6): 118-120.
滝元清透	1953	ジャガイモ萌芽抑制剤ベルビタンKの殺菌力について.	日植病報 17(3,4): 162. (講要)
滝元清透	1953	ジャガイモ萌芽抑制剤「ベルビタンK」の効果.	農及園 28(2): 305-306.
滝元清透	1953	貯蔵販売を有利にする馬鈴薯の萌芽抑制.	農業世界 48(3): 83-85.
田村咲江	1975	じゃがいも外髓部の微細構造におよぼす貯蔵日数と放射線照射の影響.	家政誌 (別27) : A-85. (講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
手島寅雄・高橋直徳	1953	種薯の貯蔵方法が生産力に及ぼす影響について.	日作紀 22(1・2): 120.
寺嶋寅雄・高橋直徳	1953	種薯の貯蔵方法が生産力に及ぼす影響について.	日作紀 22(1・2): 120.
手塚敏光	1988	種子用馬鈴薯の簡易貯蔵装置について.	農業電化 41(11): 2-7.
東京府農試	1915	爪哇薯貯蔵試験.	病虫雑 2: 897.
津山睦夫	2014	ポテトチップ用馬鈴しょにおけるエチレン貯蔵の現状と課題. (特集2 馬鈴しょ貯蔵へのエチレン利用)	いも類振興情報 119: 39-42.
植村弘之	2011	ポテトチップス用馬鈴薯の貯蔵と課題.	いも類振興情報 108: 19-23.
内海和久	2003	馬鈴薯芽止め事業30年目の現状紹介.	食品照射 38(1・2): 73-79.
Yaptenco, K.F., Sato, H., Suzuki, T., Takano, K. and Kojima, T.T.	2000	Sugar accumulation as a mechanism for freezing tolerance in cold-stored 'Danshaku' potato tuber ( <i>Solanum tuberosum</i> L.).	Food Preser. Sci. 26(2): 103-107.
Yaptenco, K.F., Sato, H., Noguchi, T., Suzuki, T., Takano, K., Matsumoto, S. and Kojima, T.T.	2000	Starch gelatinization kinetics in cold-stored 'Danshaku' potato tubers ( <i>Solanum tuberosum</i> L.).	Food Preser. Sci. 25(6): 315-321.
吉見一也	1948	寒地における馬鈴薯貯蔵法の改良.	農及園 23(9): 535-537.
湯村 寛・佐藤正人	1956	馬鈴薯の貯蔵に関する研究 第1報 常温及び低温貯蔵による澱粉及び糖分含有量の消長.	北海道農試彙報 70: 88-98.
湯村 寛・佐藤正人	1956	馬鈴薯の貯蔵に関する研究.	北農研究抄報 3: 38-39.
湯村 寛	1956	馬鈴薯の糖分含量に及ぼす貯蔵温度の影響(予報).	北農研究抄報 3: 39.
湯村 寛・佐藤正人	1957	馬鈴薯貯蔵に関する研究(第2報) 馬鈴薯貯蔵中の澱粉含量と澱粉価の差の変動について.	農産加工技術研究会誌 4(3): 75-79.
湯村 寛・今村信子	1958	萌芽抑制剤の利用に関する研究(その1) -貯蔵条件並びに品種が塊茎品質に及ぼす影響について-	北農研究抄報 4: 16.
湯村 寛・佐藤正人・今村信子	1958	抑芽剤処理が馬鈴薯の形状,品質に及ぼす影響について (I) ベルビタンK処理の影響.	農産加工技術研究会誌 5(5): 225-229.
湯村 寛・佐藤正人・今村信子	1958	抑芽剤処理が馬鈴薯の形状,品質に及ぼす影響について (II) MH-30, ドーマトンおよびドーマトンとベルビタンK併用の影響.	農産加工技術研究会誌 5(6): 263-267.
-	1957	ジャガイモ・ニンジン・タマネギに対するマレイン酸ヒドラジド(MH)の利用.	農業世界 52(3): 168-

### 532 放射線照射

青木章平	1973	放射線によってなぜ発芽がとまるか.	照射 18: 21-22.
青木章平・亀山研二・梅田圭二	1982	加工用照射馬鈴薯の長期貯蔵(1) 照射時期と照射前後の高温処理の組み合わせによる加工適性の検討.	食総研報 39: 15-18.
青木章平・亀山研二・梅田圭二	1982	加工用照射馬鈴薯の長期貯蔵(2) 加工用としての適性保持条件.	食総研報 39: 19-22.
青木章平・亀山研二・梅田圭二	1983	加工用照射馬鈴薯の長期貯蔵(3) 照射馬鈴薯加工製品の色調に及ぼす原料貯蔵条件.	食総研報 43: 94-100.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
青木章平・亀山研二・梅田圭二	1984	加工用照射馬鈴薯の長期貯蔵(4) 最適貯蔵法とポテトチップス加工試験.	食総研報 44: 57-61.
茶珍和雄・山中博之・緒方邦安	1968	放射線照射蔬菜の代謝生理と保蔵効果に関する研究(第3報) ジャガイモ, タマネギの分裂組織の呼吸および窒素代謝.	園学要旨. 昭43春: 266-267. (講要)
茶珍和雄・辰巳保夫・緒方邦安	1974	$\gamma$ 線照射がジャガイモの芽の形態的变化ならびに核酸含量に及ぼす影響.	園学雑 43(2): 194-198.
茶珍和雄・緒方邦安	1975	$\gamma$ 線照射ジャガイモの呼吸の変化 特に照射後初期の呼吸代謝の機構に関する一考察.	園学要旨. 昭50春: 350-351. (講要)
茶珍和雄・緒方邦安	1975	$\gamma$ 線照射ジャガイモにおけるcyanide - insensitive respirationの発達と消失について.	園学要旨. 昭50秋: 390-391. (講要)
茶珍和雄	1980	$\gamma$ 線照射バレイシヨの組織からの $K^+$ の漏出量の変化について.	食品照射 15: 5-17.
茶珍和雄・岩田 隆	1982	$\gamma$ 線照射バレイシヨにおけるcyanide - resistant respirationの発達に関する二, 三の誘導因子について.	食品照射 17: 1-11.
Hayashi, T. and Enlermann, D.	1980	Identification of irradiated potates by means of electrical conductivity.	Report of National Food Research Institute 36: 91-97.
Hayashi, T. and Kawashima, K.	1983	Impedance measurement of irradiated potatoes.	Nippon Shokuhin Kogyo Gakkaishi 30(1): 51-54.
Hayashi, T., Sugimoto, T. and Kawashima, K.	1984	Effect of gamma-irradiation on the activities of sucrose synthase and sucrose phosphate synthase in potato tubers and sweet potato roots.	Nippon Shokuhin Kogyo Gakkaishi 31(4): 281-284.
林 徹・杉山純一・乙部和紀・等々力節子	1993	インピーダンス測定によるガンマー線照射バレイシヨの検出.	食品照射 28: 31-39.
林 徹・等々力節子・乙部和紀・杉山純一	1993	(3Fp1) インピーダンス測定による照射馬鈴薯の検知の可能性.	日食工学会講演集 40: 141. (講要)
林 徹・等々力節子・長尾昭彦	1993	馬鈴薯の膜透過性と脂質に及ぼすガンマ線の影響.	食総研報 57: 63.
林 徹・等々力節子・乙部和紀・杉山純一	1994	照射馬鈴薯の検知のためのインピーダンス測定技術.	食総研報 58: 83.
堀 士郎・虎谷博一・片山 直・井上雅好・長谷川 博	1978	春作および秋作ジャガイモの $\gamma$ 線照射と維管束輪の褐変について.	食品照射 13(1・2): 10-13.
和泉公美子・松岡 房・黒崎敏晴	1975	$\alpha$ 線照射におけるジャガイモおよびタマネギ貯蔵中の組織化学的研究(II報) 芽における組織の微細構造.	家政誌(別27): A-86. (講要)
亀山研二	1981	“ばれいしょ”の実用化照射プラントの現状と問題点もう一步・・・消費者・行政の理解.	食品照射 16(1・2): 47-52.
亀山研二・青木章平・梅田圭二	1983	加工用照射馬鈴薯の長期貯蔵(3) 照射馬鈴薯加工製品の色調に及ぼす原料貯蔵条件.	食総研報 43: 94-100.
亀山研二・青木章平・梅田圭二	1984	加工用照射馬鈴薯の長期貯蔵(4) 最適貯蔵法とポテトチップス加工試験.	食総研報 44: 57-61.
金子一郎	1961	馬鈴薯塊茎の放射線照射について.	育雑 11(3): 236. (講要)
狩谷昭男	1973	放射線利用による食品貯蔵(1) 馬鈴しよ発芽防止の実用化と問題点.	農及園 48(3): 415-419.
狩谷昭男	1973	放射線利用による食品貯蔵(2) 馬鈴しよ発芽防止の実用化と問題点.	農及園 48(4): 538-542.
片山 直・大西徳博・堂丸隆祥・古田純一郎・金沢 保・平岡英一	1984	窒素ガスまたは炭酸ガスに封入し, ガンマ線照射したジャガイモの呼吸変動について.	食品照射 19(1・2): 9-16.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
川嶋浩二	2014	6 馬鈴薯の照射効果, 「第50回記念大会特集 食品照射研究の歴史と現状」.	食品照射 49(1): 64-65.
高野博幸・梅田圭司	1973	放射線によるジャガイモの発芽抑制(第5報) 還元糖およびアミノ酸の消長と二次加工への影響.	園学要旨. 昭48秋: 374-375. (講要)
久米民和・橋 宏行・青木章平・佐藤友太郎	1973	大型コンテナ詰めジャガイモの $\gamma$ 線照射と吸収線量.	日食工誌 20(10): 492-494.
久米民和・橋 宏行・菊地孝行・青木章平・佐藤友太郎	1974	ジャガイモ照射の実用化における線量測定.	食品照射 9(1・2): .86-87.
久米民和・橋 宏行・青木章平・佐藤友太郎	1976	$\gamma$ 線照射による馬鈴薯の発芽防止における必要最低線量と線量率効果.	JAERI-M 6408, pp.1-9. (日本原子力研究所編)
中馬 誠・斉藤希巳江・等々力節子	2004	$\gamma$ 熱ルミネッセンス法による国産照射馬鈴薯の検知.	食科工誌 51(6): 298-303.
Ogata, K., Iwata, T. and Chachin, L.	1959	The effect of gamma radiation on sprout prevention and its physiological mechanism in the potato tuber and the onion bulb.	Bull. Inst. Chem. Res. Kyoto Univ. 37: 425-436.
緒方邦安・辰巳保夫・茶珍和雄	1969	放射線照射ジャガイモのかっ変現象に関する研究(第1報).	園学要旨(昭44秋): 274-275. (講要)
緒方邦安・辰巳保夫・茶珍和雄	1970	放射線照射ジャガイモのかっ変現象に関する研究(第1報) かつ変の形態学的観察ならびに照射時期, 低温処理, ポリエチレン包装とかっ変発生との関係.	日食工誌 17(7): 298-302.
小川正巳・真島玲子・瓜谷郁三・並木満夫	1968	$\gamma$ 線照射ジャガイモの切断傷害に伴う生化学的变化に関する研究.	食品照射 3(1): 144-150.
Rahman, M.S., Kume, T. and Ishigaki, I.	1989	Sprout inhibition and change in organic components of potato by gamma-irradiation.	JAERI-M 89-197, pp.1-14. (日本原子力研究所編)
酒井信博・茶珍和雄・岩田 隆	1986	ジャガイモの癒傷能力に及ぼす貯蔵温度および放射線照射の影響.	園学要旨(昭61秋): 478-479. (講要)
佐藤友太郎	1970	照射ジャガイモ. (特集 食品照射実用化の問題点)	原子力工業 16(11): 7-10.
佐藤友太郎	1971	食品照射に関する特定総合研究の現況 バレイシヨの発芽抑制.	日本原子力学会誌 13(3): 135-138.
佐藤友太郎	1971	食品照射に関する原子力特定総合研究の現況; -バレイシヨの発芽防止に関する研究成果-	Radioisotopes 20(11): 631-637.
佐藤友太郎	1972	食品照射に関する原子力特定総合研究の現況 -バレイシヨの発芽防止に関する研究-	食品照射 6(2): 59-67.
佐藤友太郎	1972	馬鈴薯の放射線照射 その技術的・経済的展望.	New Food Industry 13(7): 23-26.
佐藤友太郎	1972	食品照射に関する照射施設技術.	食品工業 15(24) 1-18.
佐藤友太郎	1972	照射ジャガイモ.	原子力工業 17(11): 7-10.
佐藤友太郎	1973	放射線によるジャガイモの発芽防止.	日食工誌 20(1): 26-33.
佐藤友太郎	1974	食品照射に関するコバルト-60照射装置について.	照射 20: 3-8.
佐藤友太郎	1975	放射線による馬鈴薯発芽防止の実用化の背景と現状.	New Food Ind. 17(11): 67-69.
佐藤友太郎・田村直幸・青木章平・二階堂昭二・橋 宏行・久米民和・田中隆一・田島訓・菊地孝行・河合視己人・景山英一	1975	北海道士幌馬鈴薯照射施設の概念設計.	JAERI-M 6000, pp.1-42. (日本原子力研究所編)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
佐藤友太郎	1975	士幌馬鈴薯照射施設について.	放射線化学 10(19): 25-26.
佐藤友太郎	1975	北海道士幌の馬鈴薯照射施設の概要と照射コスト.	食品機械装置 (1975): 73-78.
佐藤友太郎・青木章平	1976	放射線による馬鈴薯の発芽防止. (特集放射線の利用産業)	放射線と産業 1: 10-15.
下村裕子・栗山悦子・高居百合子	1972	ジャガイモの照射処理有無の判定 (第1報) 照射による休眠芽の形態変化.	食衛誌 13(6): 531-535.
下村裕子・栗山悦子・高居百合子	1972	ジャガイモの照射処理有無の判定 (第2報) ジベレリンおよびカイネチンによる休眠芽の形態変化.	食衛誌 13(6): 536-541.
塩田弘行	1977	“放射線照射による萌芽防止”, 「馬鈴薯」(田口啓作・村山大記 監修).	グリーンダイセン普及会, 札幌, pp.459-463.
(食糧研究所)	1967	ジャガイモおよびタマネギの放射線による発芽防止.	食糧-その科学と技術 10: 27-46.
田島 真・鬼田欣一・藤巻正生	1967	$\gamma$ 線照射が馬鈴薯の加熱香気に及ぼす影響.	食品照射 2(1): 62-65.
田島 真・M. ホセイン・等々力節子	1988	低線量照射がバレイシヨの遊離アミノ酸, 糖質及びビタミンC量に与える影響.	食品照射 23(2): 1-3.
高野博幸・田中芳一・梅田圭司・佐藤友太郎	1972	放射線によるジャガイモの発芽抑制 (第3報) 発芽抑制線量と低温貯蔵試料の糖の消長.	食糧研報 27: 64-69.
高野博幸・鈴木忠直・梅田圭司	1974	放射線による馬鈴薯の発芽抑制 (第5報) 長期貯蔵中の糖およびアミノ酸の変化とポテトチップス製造への影響.	日食工誌 21(10): 483-489.
高野博幸・青木章平・梅田圭司・佐藤友太郎	1974	放射線による馬鈴薯の発芽抑制.	食総研報 29: 48-54.
田村咲江	1976	放射線照射じゃがいもの貯蔵と調理性に関する研究.	広島大教育紀要(第四部) 25: 71-78.
田村咲江	1977	放射線照射じゃがいもの貯蔵中におけるデンプン粒の形態変化.	広島大教育紀要(第四部) 26: 159-167.
辰巳保夫・茶珍和雄・緒方邦安	1970	放射線照射ジャガイモの発芽抑制機作に関する研究 核酸およびたんぱく代謝について.	園学要旨(昭45春): 340-341. (講要)
辰巳保夫・茶珍和雄・緒方邦安	1970	放射線照射ジャガイモのかわ変現象に関する研究 (第2報).	園学要旨(昭45秋): 262-263. (講要)
辰巳保夫・茶珍和雄・緒方邦安	1971	放射線照射ジャガイモのかわ変現象に関する研究 (第3報).	園学要旨(昭46秋): 300-301. (講要)
辰巳保夫・茶珍和雄・緒方邦安	1973	放射線照射ジャガイモのかわ変現象に関する研究 (第4報).	園学要旨(昭48春): 422-423. (講要)
辰巳保夫・茶珍和雄・緒方邦安	1972	放射線照射ジャガイモのかわ変現象に関する研究 (第2報) ポリフェノール物質とアスコルビン酸含量ならびにポリフェノールオキシダーゼとペルオキシダーゼ活性におよぼす照射時期の影響.	日食工誌 19(11): 508-513.
辰巳保夫・茶珍和雄・松塚正道・緒方邦安	1973	放射線照射ジャガイモのかわ変現象に関する研究 (第3報) 産地によるかわ変発生の差異について.	日食工誌 20(4): 132-136.
林 徹・等々力節子・乙部和紀・杉山純一	1993	インピーダンス測定法による照射馬鈴薯の検知の可能性.	日食工誌 40(5): 378-384.
戸部満寿夫・池田良雄	1972	照射馬鈴薯の安全性について.	食品照射 6(2): 54-58.
Todoroki, S., Dan, K. and Hayashi, T.	1994	Lipid content and fatty acid composition of gamma-irradiated potato tubers.	Nippon Shokuhin Kogyo Gakkaishi 41(5): 358-362.
等々力節子・林 徹・河内 宏	1994	$\gamma$ 線照射バレイシヨの障害に対する脂質代謝応答.	食総研報 58: 81.
等々力節子・林 徹・中村善行・笠毛邦弘	1995	馬鈴薯の液抱のプロトンATPaseに及ぼすガンマ線照射の影響.	食総研報 59: 54.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
等々力節子・林 徹	1997	ガンマ線照射馬鈴薯の各オルガネラ膜脂 肪酸組成の変化.	食品照射 32(1・2): 20-23.
等々力節子	1997	γ線照射バレイシヨの生理変化.	食糧 36: 85-103.
等々力節子・齋藤希巳 江・蘆原昌司	2007	(3Lp2) 放射線照射バレイシヨの熱ルミ ネッセンス(TL)および光ルミネッセンス (PSL)による検知.	日食工学会講演集 54: 153. (講要)
梅田圭司・高野博幸・ 佐藤友太郎	1969	放射線によるジャガイモの発芽抑制 (第1 報)「男爵」および「島原」の照射時期と発 芽率.	日食工誌 16(11): 508-514.
梅田圭司・川嶋浩二・ 高野博幸・佐藤友太郎	1969	放射線によるジャガイモの発芽抑制 (第2 報)「農林1号」の発芽抑制線量と照射が 二次加工製品に与える影響.	日食工誌 16(11): 515-519.
梅田圭司・高野博幸・ 佐藤友太郎	1970	でんぷんにおよぼす放射線の影響 (2) 各 種照射ででんぷんの糖化と液化.	食糧研報 25: 4-10.
梅田圭司	1975	馬鈴薯, タマネギの安定供給のための放 射線利用.	食糧管理月報 27(6): 28-34.
梅田圭司	1977	過去3年間の馬鈴薯照射事業の成果と新 しい問題点.	澱粉科学 24(1): 19-26.
梅田圭司・鈴木慶記・ 亀山研二・菱沼 豊	1977	照射馬鈴薯の貯蔵条件と還元糖の消長.	食品照射 12(1): 15-22.
浦久保五郎・長谷川 明	1970	照射ばれいしょ, 照射たまねぎなどのγ 線スペクトルについて.	食衛誌 11(1): 56-58.
古田純一郎・平岡英 一・岡本信一・藤代正 敏・金沢 保・大西徳 博・辻井幸雄・堀 士 郎・小島 懋	1978	馬鈴薯の発芽防止のガンマ線線量率効 果.	食品照射 13(1・2): 1-9.
古田純一郎・平岡英 一・岡本信一・藤代正 敏・金沢 保・大西徳 博・辻井幸雄・堀 士 郎	1981	馬鈴薯の発芽防止のガンマ線線量率効 果 第2報 メーカーの発芽防止.	食品照射 16(1・2): 9-12.
古田純一郎・平岡英 一・岡本信一・藤代正 敏・金沢 保・大西徳 博・辻井幸雄・堀 士 郎	1982	電子線照射による馬鈴薯の発芽防止 第2 報 表面照射装置.	食品照射 17(1・2): 12-19.
吉川誠次	1957	原子力利用による馬鈴薯の発芽防止.	栄養と食糧 10(1): 5-6.

#### 540 輸送

相川英雄・高岸欽七	1955	暖地における春作産種馬鈴薯の夏季高 温時の輸送について 第2報 輸送に関 する参考試験.	九州農業研究 16: 94.
秋山昌弘	1962	秋作用種馬鈴薯の荷造と輸送方法.	農及園 37(9): 1501-1502.
長谷川良雄	1954	北海道産馬鈴薯の冬季輸送.	鉄道業務研究資料(国鉄鉄道 技術研究所) 11(8): 184-189.
木原芳次郎・安孫子孝 一	1954	馬鈴薯厳冬輸送の問題.	農及園 29(12): 1479-1484.
菊川誠士・大熊 靖・川 久保満・相川英雄・高 岸欽七	1955	暖地における春作産種馬鈴薯の夏季高 温時の輸送について 第1報 長崎一熊 本・岡山・宮崎間の輸送試験成績.	九州農業研究 16: 93.
宮本健太郎・藤山俊 計・野島武盛	1966	輸出馬鈴薯に関する研究 第1報 種いも の輸送時期とその生産性.	九州農業研究 28: 63-65.
永松 貢	1958	馬鈴薯傷における電気抵抗の変化.	日植病報 23(1): 44.(講要)
永松 貢	1960	じやがいもの俵内温湿度と軟腐病菌の感 染状況.	日植病報 25(1): 47-48.(講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
<b>550 農業機械</b>			
Al-Mallahi, A.A., Kataoka, T. and Okamoto, H.	2008	Development of machine vision system for discrimination between tubers and clods (Part 2) .	農機誌 70(別): 305-306. (講要)
中馬 豊・中司 敬・大浦 正伸	1981	チップス加工用バレイショのDLE特性とその選別工程への利用.	農機誌 43(別): 164. (講要)
原 令幸・竹中秀行・関口建二	2003	ポテトハーベスタ用収量センサおよび収量測定システムの開発.	農機誌 65(6): 158-162.
端 俊一・高井宗宏・南部 悟・佐藤雅紀	1986	ポテトハーベスタによる馬鈴薯の損傷について.	農機誌 48(別): 185. (講要)
端 俊一・高井宗宏・伊藤道秋・酒井憲司・今野繁雄・若沢幸夫・佐藤雅紀	1992	ポテトハーベスタによる塊茎の損傷 - 第1コンベヤ速度と損傷の関係 - .	農作業研究 27(3): 210-217.
早川 功	1976	水蒸気の断熱膨脹力を用いた新しい剥皮装置Explosion Peelerの開発.	九大農学芸雑誌 31(2/3): 93-97.
早川千吉郎・村越一彦	1965	ポテトプランタの利用性能試験.	農機誌 27(別): 59. (講要)
早川千吉郎・村越一彦	1965	ポテトディガーの利用性能試験.	農機誌 27(別): 89. (講要)
細川 明	1959	小型トラクタによる馬鈴薯防除作業の一例.	農機誌 21(2): 51-54.
市来秀之	2008	バレイショのソイルコンディショニング体系用セパレータの開発.	農機誌 70(6): 12-17.
池田 稔・小島勝次郎・前川 弘・塚本正男	1979	ジャガイモの乾燥法(予措)に関する試験.	九州農業研究 41: 179.
石橋哲也・久保田幸夫	1986	バレイショ機械化一貫作業体系確立.	九州農業研究 48: 229.
岩崎正美・石原 昂	1978	掘取機の選別機構に関する研究(第2報).	農機誌 40(1): 41-46.
甲斐田健史・浦田丈一	1996	バレイショ茎葉採取機の改良によるカンショつる処理への活用.	九州農業研究 58: 175.
貝沼秀夫・青木 循・安食恵治・久保田興太郎	2004	いも類の収穫前茎葉処理機の開発.	農機誌 66(別):139-140. (講要)
貝沼秀夫	2006	バレイショの収穫前茎葉処理機 2畝プラタイプ, 産地で高評価. (特集 野菜生産新技術の開発)	機械化農業 3066(2006-11): 18-21.
貝沼秀夫・大森定夫	2007	野菜作用機械 バレイショ用2機種が登場. (2007 農業機械カタログ集 主要機種最近の開発改良動向)	機械化農業 3073(2007-06): 184-186.
貝沼秀夫	2008	引抜き式バレイショ茎葉処理機の開発.	農機誌 70(1): 24-25.
貝沼秀夫	2008	農業機械の開発最前線(5) バレイショの収穫前茎葉処理機の開発.	今月の農業 52(5): 52-56.
貝沼秀夫	2008	バレイショ茎葉処理機の開発.	農業技術 63(6): 252-256.
貝沼秀夫・青木 循・鈴木 剛・大波正寿・鎌田 誠・菅原和之	2013	バレイショ茎葉処理機の開発(第1報) - 収穫時期のバレイショ性状調査と茎葉処理方法の違いが収穫時の皮剥け程度に及ぼす影響 - .	農機誌 75(6): 434-439.
貝沼秀夫・青木 循・鈴木 剛・大波正寿・鎌田 誠・菅原和之	2014	バレイショ茎葉処理機の開発(第2報) - 開発機の構造と性能および茎葉処理方法の違いが収穫作業能率に及ぼす影響 - .	農業食料工学会誌 76(2): 179-186.
金子一郎	1966	馬鈴薯の機械化省力栽培法.	農及園 41(1): 29-33.
片岡正登・宮寄朋浩・杉本光穂	2008	多機能種イモ植付け機械システムの開発.	九州農業研究発表会要旨集 71: 120. (講要)
Khojastehpour, M., Hashiguchi, K. and Ghasemzadeh, H.R.	2002	Development of potato sorting machine.	農機誌 64(別): 599-600. (講要)

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
城所敏夫・米山 裕	1980	野菜用移植機の汎用化に関する試験 (第2報) -バレイショ・サトイモ-	神奈川農総研報 133: 25-34.
国立卓生・辻 博之	2015	国内製ポテトプランタによるバレイショ千鳥植え技術の開発.	作物学会講要集 240: 62.(講要)
国立卓生	2015	バレイショ生産の現状を打破 国内製で千鳥植え栽培を実現. (特集 イモ生産の現状と課題)	機械化農業 3166(2015-03): 10-14.
黒木栄一・溜池雄志	2005	赤土バレイショ調製機の開発.	九州農業研究 67: 124.
黒木栄一・溜池雄志・白澤繁清・滝沢芳則	2007	重粘土壌に対応した赤土バレイショ調製機の開発.	鹿児島農総研報(耕種) 1: 91-98.
松田清明	1978	バレイショの切断特性に関する研究.	帯大研報(第1部) 11(1): 215-226.
松田清明	1978	ばれいしょの切断特性に関する研究.	農機誌 40(別): 126.(講要)
松田清明・佐藤禎稔・宮本啓二・村井信仁・高橋義明	1982	除礫がバレイショ収穫に及ぼす効果.	農機誌 44(別): 99.(講要)
道場三喜雄・島田実幸・稲野一郎・石塚茂・渡会 昇	1990	馬鈴しょ茎葉処理機械の開発改良 第1報 リーフチョッパの実用化試験.	農業機械学会北海道支部会報 31:80-83.
宮本啓二	1978	バレイショ塊茎の打撲による内部損傷の発生と応力に関する研究.	帯大研報(第1部) 11(1): 207-213.
宮寄朋浩・入口義春・永田浩久・泉 省吾・寺井利久	1998	バレイショにおける省力防除作業の検討.	九州農業研究 60: 140.
宮寄朋浩・酒井寿美雄・田中 博・小林雅昭	2011	バレイショ茎葉処理機の電動化による特性評価.	九州農業研究発表会要旨集 74: 94.(講要)
宮寄朋浩	2011	電動バレイショ茎葉処理機からみた電動農耕機特性 -騒音・振動が大幅に低減される. (特集 農業機械の電動化)	機械化農業 3126 (2011-11): 15-18.
桃野 寛	1997	バレイショ作機械化の現状と課題.	農機誌 59(5): 107-112.
村井信仁	1977	“機械化栽培”, 「馬鈴薯」(田口啓作・村山大記 監修).	グリーンダイセン普及会, 札幌, pp.413-429.
村井信仁・玉木哲夫・高橋義明・信田哲広・安久津昌義	1984	ばれいしょ用培土プラウの開発に関する研究.	農機誌 46(3): 374-380.
村井信仁	2004	施肥・播種機物語(7) ポテトプランタ.	農業経営者 12(5): 74-78.
村上寛貢	2015	馬鈴しょ欠株補充装置の開発 農作業の高精度・効率化の取組み. (特集 ITを使ったロボット農業の可能性)	農家の友 67(11): 31-33.
村瀬治比古	1981	水ポテンシャルの異なるポテト塊茎の音響インピーダンスの測定.	農機誌 43(別): 1648.(講要)
中山敏文・山本平三・坂本光幸・安田賢司	2003	バレイショの畦立同時局所施肥機の試作.	九州農業研究 65: 154.
西川佳範	1985	小型播種機を利用したバレイショ小粒種いもの播種法.	広島農試報告49: 79-86.
西村政芳・佐々木政男	1965	土壌施用浸透性殺虫剤施用機の試作について.	農薬研究 12(1): 28-32.
農業機械学会	2008	特集 大幅な省力化に向けたテンサイとバレイショの新しい機械化栽培技術.	農機誌 70(6): 3-17.
大橋敏伸	2007	バレイショの超省力的新栽培機械化体系の概要.	農作業研究 42(別2): 7-12.
大崎和二	1963	農作業体系と農機具の利用に関する研究 第1報 総合施肥播種機利用による馬鈴薯植付作業の能率と収量について.	茨城大農学術報告 10: 79-82.
大津英子	2008	加工用バレイショのソイルコンディショニング栽培体系.	農機誌 70(6): 8-11.



著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
小野盾男・安間貞夫・中村善徒	1979	バレイシヨみがき機の性能と利用法に関する研究.	静岡農試研報 24: 83-89.
斉藤 亘・高橋義明・藤田昭三	1967	バレイシヨ播種機に関する研究.	農業機械学会北海道支部会報 9: 7-10.
酒井憲司・端 俊一・南部 悟	1987	振動式ポテトディガに関する研究.	農機誌 49(別): 98.(講要)
酒井憲司・端 俊一・南部 悟	1987	ポテトディガにおける掘取刃加振効果について.	北大農邦文紀要 15(4): 380-384.
酒井憲司・南部 悟・端 俊一・高井宗宏・陣 雅樹	1991	実験的手法による振動式ポテトディガ設計パラメータ適正値の検討.	農機誌 53(5): 93-98.
島田実幸	1976	落下衝撃によるばれいしょ損傷試験.	北海道立農試集報 35: 70-78.
島田実幸	1977	被覆材による収穫時馬鈴薯の損傷防止.	農機誌 39(別): 70.(講要)
白水照二	2004	北海道支部 じゃがいも異物除去装置について. (第42回[農業電化協会]支部研究発表)	農業電化 57(10): 2-6.
白水照二	2005	「じゃがいも異物除去装置」について. (特集 第一次産業における電気加熱)	エレクトロヒート 25(5): 29-33.
菅原清康・泉 久司・山下米治	1978	ポテトスピナーによるイモ類の掘残し量とこれに関与する諸要因との関係 第1報 バレイシヨの掘取り.	農作業研究 33: 20-25.
鈴木 政	1949	馬鈴薯収穫機 —アメリカ農業機械図説(2).	機械化農業 2354: 24-27.
鈴木 剛	1996	馬鈴しょ茎葉処理広幅散粉機の開発 —粉剤飛散抑え毎時2haの能率. (特集 地域農業を支える新技術)	機械化農業 2945 (1996-10): 22-25.
高橋圭二・山島由光・玉木哲夫	1990	馬鈴しょ茎葉処理機械の開発改良 第2報 馬鈴しょ茎葉引き抜き機の実用化試験.	農業機械学会北海道支部会報 31: 84-88.
高橋俊行・藤田昭三	1953	簡易馬鈴薯掘取機の性能比較.	北農 20(8): 244-250.
高橋俊行・藤田昭三	1954	馬鈴薯掘取機性能比較試験成績.	北農 21(8): 256-260.
高橋俊行・藤田昭三	1956	簡易馬鈴薯掘取機性能比較試験成績.	北農 23(1): 12-16.
高橋義明・村井信仁・道場三喜雄・山島由光	1975	種子馬鈴薯の機械化栽培に関する研究 第1報 施設貯蔵.	農機誌 37(別): 121.(講要)
高橋義明・村井信仁・道場三喜雄・山島由光	1976	種子馬鈴薯の機械化栽培に関する研究 第二報 茎葉処理機械の性能.	農機誌 38(別): 76.(講要)
高橋義明・村井信仁・南部 悟・宮本啓二・松田清明	1980	自走式ポテトハーベスタの性能に関する研究.	農機誌 42(別): 95.(講要)
高井宗宏・端 俊一	1972	スパイラルロール形じゃがいも選別機について.	農機誌 34(別): 114.(講要)
高瀬 昇	1968	大型機によるバレイシヨ栽培.	農及園 43(1): 183-186.
溜池雄志・大村幸次・滝沢芳則・神門達也	2004	奄美地域の重粘土壤に適する自走式ポテトハーベスタの開発.	鹿児島農試研報 32: 91-97.
溜池雄志	2002	赤土バレイシヨ収穫機 —重粘土壤地帯で使える自走式. (特集 地域緊プロによる野菜作用機械)	機械化農業 3018(2002-11): 15-18.
田中 悌・丸山勝弘・樋口 勉・長野孝晃	1966	長野県農試桔梗ヶ原式バレイシヨ施肥播種機について.	農及園 41(8): 1227-1228.
鳥山正雄	1952	馬鈴薯収穫機の発達.	機械化農業 1952-08: 79-81.
豊田浄彦・Tsenkova Roumiana・宮本哲志	1997	ポストハーベストにおけるインピーダンス・スペクトロスコピイ (IS) の応用.	農機誌 59(別): 393-394.(講要)
山元英夫	1969	エレベータ型ポテトディガーの土ふるい精度について.	農機誌 31(1): 67,66,78.

著者名	年	表 題	掲載誌・巻号頁
<b>570 その他</b>			
愛知県農業補習学校	1932	馬鈴薯(じゃがたらいも)。(「農家の智囊第14篇」)	日新堂書店, 安城町 (愛知県), pp.125-
畠山 恒	1948	第十七章 じゃがたらいも。(「植物の研究」1948 2版, 畠山 恒 著)	三省堂出版, 東京, pp.60-
片岡千治	1937	馬鈴薯にトマトの接木栽培.	農業世界 32(1): 172-
—	1876	馬鈴薯の説.	農業雑誌 19: 10-12.
—	1878	馬鈴薯の説並に實驗説.	農業雑誌 57: 161-168.
—	1881	最上無二の馬鈴薯.	農業雑誌 138: 377.
—	1905	馬鈴薯疫病豫防に就て.	農業雑誌 30(27)(926) : 427-428.
—	1887	馬鈴薯腐敗の説.	農業雑誌 12(29)(280): 452-453.
—	1878	馬鈴薯に附く虫の説 —(ポテトバツク)	農業雑誌 57: 168-169.